

これからの森づくりと 森林教育

— 何をどう伝え、引き継ぐか —

日時：平成28年3月7日(月) 13:00~16:30
※12:20 開場

会場：千代田区立日比谷図書文化館
日比谷コンベンションホール（大ホール）

参加費：無料（事前登録制、申し込み先着順）

プログラム：①基調講演

「自然体験活動の場・素材としての森林の意義」

大石康彦氏（森林総合研究所多摩森林科学園 教育的資源研究グループ長）

②実践報告／調査・研究報告

山浦安曇氏（理科ハウス）、高橋佳夫氏（森びとプロジェクト委員会）、矢ヶ崎朋樹（IGES-JISE）

③パネルディスカッション（上記演者4名）

申込方法：メールまたはファックスにて、下記までご連絡下さい。

お名前、ご連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)をお知らせ下さい。

公益財団法人 地球環境戦略研究機関 国際生態学センター（IGES-JISE）

ファックス: 045-472-8810 メール: ecoinfom@jise.jp

電話: 045-548-6270（お問い合わせ受付：月～金 9時30分～18時）

会場周辺地図→



開催趣旨：世界有数の森林国と呼ばれる日本。豊かな森を抱えながらも、森とともに生きる意味や術を知らない子供たちは、やがてどのような大人に生長し、どのように森の国を引き継いでいくのでしょうか。本フォーラムでは、実践的な学問としての「森林教育」に焦点をあて、森林と子供たちを守り育てる意味を再確認しながら、これからの森づくりや森林教育に求められるあり方や動機づけについて議論を深めます。